

超低ウェービング ボールリテーナ入り LM ガイドの受注を開始 ～超低ウェービングに加え、ISO 規格に準拠した世界標準寸法に対応～

THK株式会社(東京都港区 代表取締役社長:寺町 崇史、以下、THK)は、超低ウェービング ボールリテーナ入り LM ガイド(形番:SPH)の受注を開始いたします。

超低ウェービング ボールリテーナ入り LM ガイドは、ISO 規格準拠寸法の超低ウェービング LM ガイドです。8 条列構造と小径ボールを採用することで、直動案内トップクラスの超低ウェービング*を実現しました。これにより、測定精度の向上や位置決め精度の向上、加工面品位の向上に寄与し、ナノメートルオーダーの運動精度が求められる分野にも対応が可能となります。

*ウェービングとは、LM ブロックが LM レール上を移動する際に、内部のボール(転動体)が転がることでブロックとボールの相対位置が変化し、真直度に影響を及ぼす現象。特に高精度の加工装置では、ウェービングを極力小さくすることが求められている。

従来の超低ウェービング LM ガイド「SPR/SPS 形」は、THKの独自寸法を採用したことにより、適用範囲が一部の装置の案内部など限定的でしたが、超低ウェービング ボールリテーナ入り LM ガイドでは ISO 規格に準拠した寸法(世界標準寸法)のため、既存製品からの置換えが可能です。

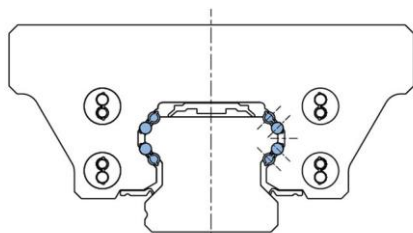
また、4 方向等荷重であらゆる姿勢での使用が可能のため、半導体・液晶装置関連のほか、工作機械などでも、これまで以上に高精度市場のお客様にご活用いただけます。

THKはこれからも、機械要素部品のトップメーカーとして培ってきた技術とノウハウをもとに、幅広い装置の高性能化に貢献してまいります。

特長

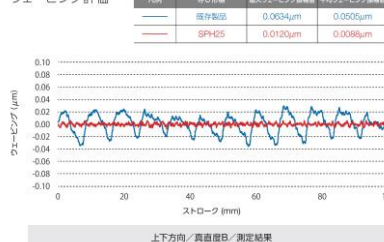
● 超低ウェービング

8 条列の転動溝と小径ボールの採用により、LM ブロック内の有効ボール数を増やしたことで、直動案内の中でもトップレベルのナノメートル単位の超低ウェービングを実現。



8 条列の転動溝と小径ボールの採用

ウェービング評価



上下方向 / 真直度B / 測定結果

● ISO 規格準拠寸法

8 条列構造を採用しながらも、世界標準である ISO 規格に準じた寸法を実現。サイズは #25、#30、#35、#45 の 4 サイズ、ブロックタイプは全 6 種類をラインナップ。

● ボールリテーナ効果

THKが長年培ってきたコア技術であるボールリテーナを採用。ボールがボールリテーナにより保持され循環することでボール同士の相互摩擦がなく、グリースの保持力も向上するため、滑らかな動作、そして長寿命・長期メンテナンスフリーを実現。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

THK株式会社 マーケティング PR 統括部 担当:中川 / 石川 TEL:03-5730-3845 E-mail: thk-sp@thk.co.jp